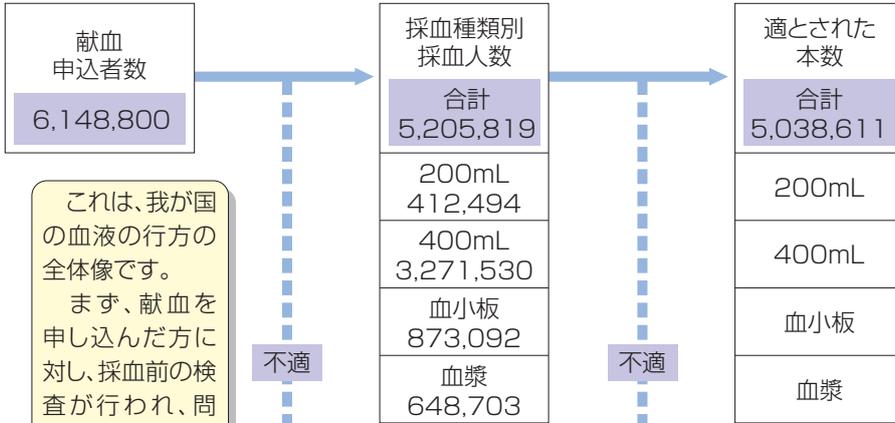


我が国における血液



これは、我が国の血液の行方の全体像です。
まず、献血を申し込んだ方に対し、採血前の検査が行われ、問診により健康状態が確認されます。

	不適人数
採血基準	493,811
問診①	21,081
問診②	130,958
その他	297,132
合計	942,982

※問診①②については
23ページ参照

不適人数	内 訳	
167,208	一次検査	核酸増幅検査(NAT)
梅毒	4,933	
HBV	30,891	36
HCV	1,739	3
HIV	3,578	1
HTLV-1	3,013	
B19	1,935	
不規則	4,213	
肝機能	115,230	
その他	5,120	
延人数	170,652	40

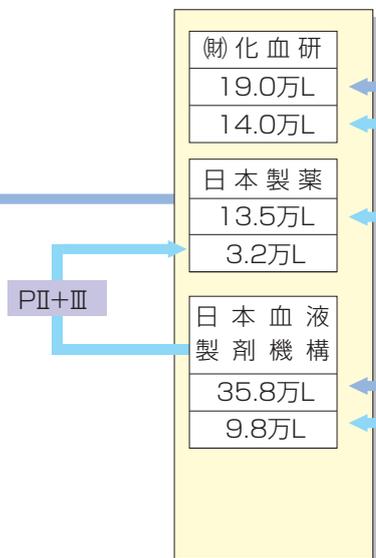
採血前検査を通った方から採血された血液は、感染症や抗体について検査されます。
ここで不適とされたものは、以後の製造には用いられません。

検査で適とされた血液は、輸血用血液製剤や原料血漿に調製されます。
輸血用血液製剤は、日本赤十字社から医療機関に供給されます。

- 輸入製剤・血漿
 - ・アルブミン製剤
 - ・組織接着剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅻ因子製剤
 - ・免疫グロブリン製剤
 - ・C1-インアクチベータ
 - ・抗破傷風IG製剤
 - ・血漿
- 遺伝子組換え
 - ・アルブミン製剤
 - ・インヒビター製剤
 - ・第Ⅷ因子製剤
 - ・第Ⅸ因子製剤

血漿分画製剤(25年度自給率)

○アルブミン製剤	58.7%(血漿)
○第Ⅸ因子製剤	100%(血漿)
○フィブリノゲン製剤	44.2%(組換含)
トロンビン製剤	}	100%
活性化プロテインC		
人ハプトグロビン		
ATⅢ製剤		
○組織接着剤	49.0%
○第Ⅷ因子製剤	100%(血漿)
○第Ⅷ因子製剤	15.0%(組換含)
○インヒビター製剤	}	0%
第Ⅻ因子製剤		
抗D(Rho)IG製剤		
抗破傷風IG製剤		
C1-インアクチベータ		
○免疫グロブリン製剤	95.9%
○抗HBsIG製剤	2.7%



の行方（平成25年版）

